



大槻ゆり子 議員

がんは、2人に1人が一生の間に罹患するとされる「国民病」です。「がん対策推進基本法」が成立して10年が経過。国をあげての本格的な取り組みにより、「不治の病」とされてきた「がん」も「長く付き合う病」へと変化しています。今後は更に「がん患者の就労支援」や「緩和ケア」の拡充に期待します。

がん対策の推進について

がん予防対策の推進は？

答

がん検診の受診率の向上に努めます。

健康福祉部長

平成27年度の受診率は胃がん6.0%、大腸がん16.4%、乳がん22.6%、子宮頸がん21.4%、肺がん2.2%と乳がん以外は県平均よりも低い現状です。

「地域がん診療病院」

指定の高島市民病院の利点は。

市民病院事務部長

大津赤十字病院と連携し、放射線治療や高度ながん診療などがスムーズに対応できること、充実した化学療法の実施や院内に緩和ケアチームでの診療提供体制ができたこと、相談支援センターの設置が利点です。今後は、研修会や公開講座などの普及啓発活動の充実にも努めます。

「がん教育」の実施

効果と今後は。教育指導部長

市内6中学校で医師やがん経験者を招き「がんは、多くの人がかかる病気」予防ができる「早期に発見すれば治る」「検診で発見できる病気である」などの講演内容から、正しい知識が身についたと考えます。また「健康や命の大切さを考える」「家族にも検診を勧めたい」との感想が得られ、今後とも計画的に実施していきたいと考えています。

健康福祉部長

早期発見のため、一層の検診の啓発・検診体制の工夫で受診率の向上、職場での検診実施に向け、制度の周知をさせて頂き啓発に取り組めます。

その他の質問

●学校の働き方改革推進に

ついて



滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」



乳がんチェックシート